

アムス校友会通信

発行：アムス柔道整復師養成学院 校友会

Vol. 1
2009.12

目次

アムス校友会通信発行にあたって	1	校友会プレートを作りました	2
総会・交流会を実施しました—①	1	校友会組織について	3
総会・交流会を実施しました—②	2	山脇会長からの挨拶	4

アムス校友会通信 発行にあたって

アムス柔道整復師養成学院も今年第10期生を迎える、卒業生も第7期生までのおよそ800名強、在校生も280名を超えており、合計で1,000名以上の会員が所属する大所帯となっていました。

開業して自分の「城」で活躍されている方、病院や高齢者施設で患者さんや利用者の方の力となって支えていらっしゃる方、更なる知識を求めて他の医療資格を目指していらっしゃる方、そしてこれからの自分の活躍を夢見て、仕事と勉強の両立を頑張っている在校生。

そんな皆さんの活躍のルーツが「アムス柔道整復師養成学院」にあるはずです。普段は意識してなくても、時々自分がアムス卒業生であることを思いだすことができるよう、また皆さんのが3年間頑張った日々を思い出して、今の努力に繋げることができるよう。年2~3回のペースにはなると思いますが、皆さんに校友会の様子をお届けしようと思います。

試行錯誤もあるかもしれません、これからのご愛顧宜しくお願ひいたします。

広報委員会

総会・交流会を実施しました—①



アムス柔道整復師養成学院 校友会では本年度総会を平成21年6月21日（日）に学院にて開催しました。内容は以下の通りです。

- ①平成20年度活動報告
- ②平成20年度決算報告
- ③新会則、新組織体制について
- ④平成21年度年間活動案
- ⑤平成21年度暫定予算報告

新体制下での初めての総会となり、各自「これでいいのか？」と不安を抱えながらの開催となりましたが、卒業生・在校生ともに多数の方に参加していただき、我々運営側の意気込みを伝えることができたのではないか？と思える会になりました。

内容についてはこの後の記事でもご紹介して行きたいと思います。



総会・交流会を実施しました—②企画委員会より



総会後、総勢90名で大BBQ大会を行いました。

毎年、BBQ大会を行っておりますが、このBBQ大会は、新入生と在校生、先生、OBとの交流を深めることが目的です。

今回からおでんやカキ氷、焼きおにぎりも加わりましたが、相変わらず一番の人気はお肉でした。小さなお子様にはミルク金時のカキ氷が大好評でした。

私たち校友会役員が汗だくになってお肉を焼いていましたが、皆さんが美味しそうに食べているのを見ると、すごく嬉しかったです。

今後は、皆さんともコラボして一緒にワイワイお料理を用意したいと考えております。

こういった場でたくさんの人と垣根を越えて色々な話をする事は、大変有意義な事だと思います。

時には悩みを相談したり、時には業界の情報を共有したり、ここでしか聞けない話がたくさんありました。

今後とも、こういったイベントを主催し、『アムスネットワーク』が広がることで、学院をもっともっと盛り上げていければ幸いです。

皆さん、次回も御参加のほど宜しくお願い致します。



広報委員会だより～校友会プレート作りました～

今回総会での広報新企画といたしまして、「アムス校友会会員証」というプレートを製作いたしました。すでに、ご購入いただきました先生方もおられるほどのご盛況をいただきました。

☆プレート製作☆

今回、各院、各先生方、はたまた、医療業界の発展を考えた中でプレートを院内に提示するという提案名がありました。

★プレートを院内、又は、関連病院その他、関連機関におくことによって出来るネットワークとメリット

- ①当学院の卒業生又は在学生である証
- ②施術所間の患者さんの紹介
- ③関連機関との技術の共有と交流
- ④医療機関のネットワーク拡大
- ⑤ネットワーク拡大による患者さん

御自身の安心

- ⑥整復師業界内の動向情報の迅速な伝達
- ⑦整復師業界の変動情報の入手

これらの構想を将来的に完成させ自分たち柔整師の業務の向上を考えて行きたいと思っています。



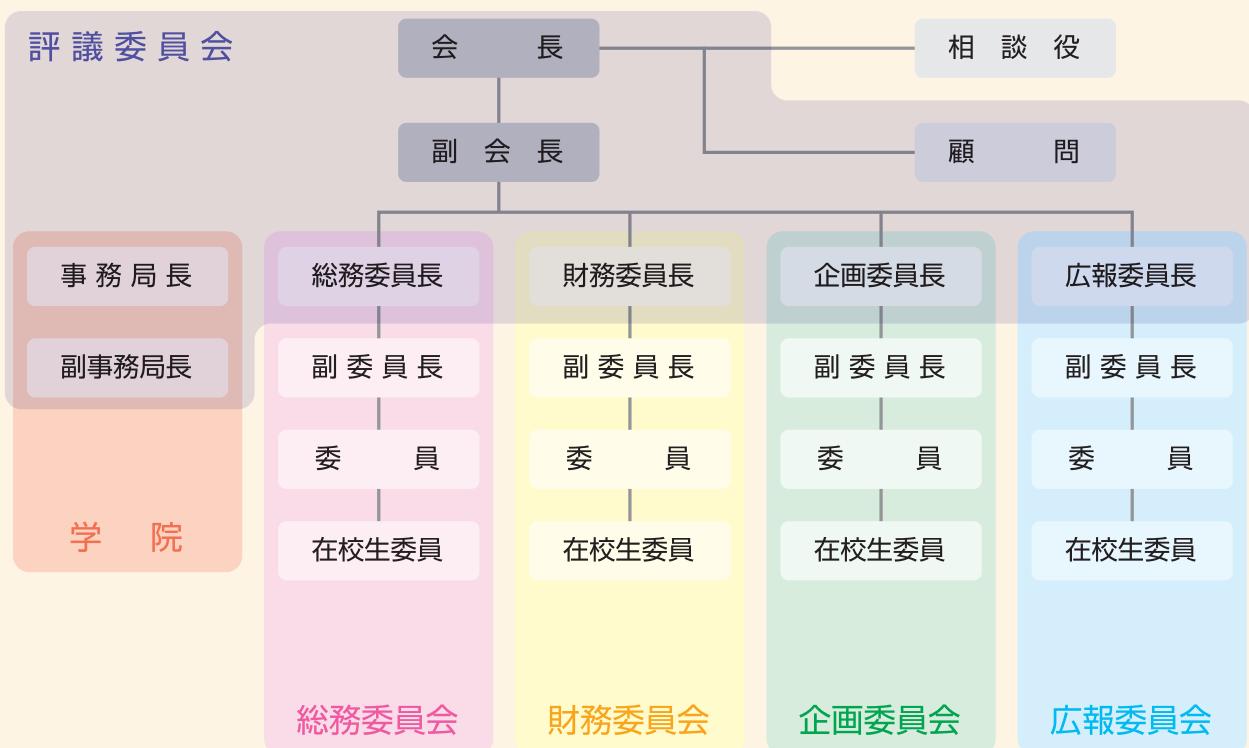
将来的ネットワーク系図



プレート実物です

校友会の新しい組織について

●新組織体制



今後の運営組織体制として、上記のような組織編制を行いました。

その最大のポイントは「学院との連携」。学院と校友会は切っても切り離せない密接な相互協力関係にあります。

学院内に「事務局」を設置してもらい、各委員会と連携して活動を運営していく体制を整備しました。

もう一つのポイントは「評議委員会」の設置。旧来の会則における議決機関は大編成であったため、実際の活動にそぐわない面がありました。校友会役員もそれぞれ多忙な本業の合間に縫って役職に就いてもらっていることからも、意思決定機関を出来るだけシンプルな形に編成しなおしました。

在校生委員を始め、まだ編成途中の部分もありますが、皆さんのご協力の下、強固な組織作りを進めていきたいと思います。

なお、現役員は以下の通りです。もし、活動に興味のある方は、事務局までご一報お願いいたします。

【会長】山脇 功治(第1期生)	【広報委員長】前川 和範(第4期生)	【企画委員】春田 雄司(第4期生)
【副会長】吉本 徹也(第1期生)	【総務委員】森田 和樹(第3期生)	遠藤 俊介(第7期生)
【顧問】三雲 大輔(第1期生)	仲田 貴好(第4期生)	【広報委員】水嶋 将貴(第4期生)
和泉 克典(学院職員)	木下 昌子(第5期生)	井元 英晴(第6期生)
【相談役】片平 久雄(第1期生)	【財務委員】田中 次郎(第5期生)	嶺山 好朗(第6期生)
五代 哲朗(第5期生)	【企画委員】中林 佑樹(第1期生)	岡村 優輝(第6期生)
【総務委員長】清水 義郎(第4期生)	木村 壮臣(第4期生)	【事務局員】中川 和也(学院職員)
【財務委員長】宮崎 大介(第2期生)	米田 達哉(第4期生)	梅田 圭一(学院職員)
【企画委員長】星本 真和(第3期生)	塚本 哲生(第4期生)	豊田 靖(学院職員)

3代目会長 山脇功治からのご挨拶



昨年6月より五代前会長から会長職を引き継ぎあつという間に一年半が経過しました。

その活動の活発なイメージが賞賛されていた校友会活動ですが、会長の立場から見てみると、学院に頼っていた部分があまりにも多く、会員全体への利益提供が機能していないように感じ、心機一転、学院と協力しながら4つの委員会を中心にもう一度組織を再構築し、会則の見直しも図りながら、今までにないペースで各委員会・全体での会議を行い、校友会の方向性を検討してきました。

もちろん、創設のときに掲げた「親睦と勉強」という一番の理念からはブレることなく、この一年間自分自身で「原点に返る」ということを意識しながら、校友会のあり方について自分なりに自問自答し、役員の皆さんにも問い合わせてきました。

その中で出した答えは「来年6月までの一年で組織と活動の基礎を築く」「背伸びせずにできる範囲内のことを行っていけるようにする」「柔道整復師として必要な要素を多角的に習得できる勉強会を作り上げる」というものでした。

この1年の途中では立て直しとともに、「あれもやろう、これもやろう」と意欲的にアイデアが出てきたこともありました。卒業生は各々(おのの)が仕事を持つており、その合間を縫つての、いわゆる「ボランティア活動」であり、突然大きく振舞おうとしても内容がついていきません。小さいことでもできることから確実にやっていかなければならないということが、やっと分かってきました。これだけでもこの一年半は大収穫だったと思います。これからは、この一年で見えてきた形を輪郭をはっきりさせて、学院と一緒に校友会委員が一丸となって会の土台をつくり上げていくことを目標にスクラムを組んで頑張りたいと思います。また、柔整校が乱立し受験者が減る現象がおきているそうで、学院の募集活動も大変になってきているとも伺いました。学院あっての校友会、また校友会がしっかり盛り上がれば学院にもいい影響が及ぶと思います。お互いがバラバラに動くよりも、手を取り合って、共に知恵を絞りながら協力し合う。片方だけの発展はありません。学院と交友会は運命共同体ですから。

その思いから学院と方向性を共にし、連携を密接なものにするために、会則に手直しを加えて、評議委員会の中にも学院教職員の方々に入っていただき、さらに連携を強化させていきたいと考えています。

また、皆さんにお願いがあります。校友会活動は役員だけが盛り上がっても何の意味もありません。卒業生・在校生が少しずつ関心を持って欲しいのです。ときには在校生・卒業生の垣根を超えて医療に関することから、まったく関係のない遊びの話までいろいろと語り合う機会を私たちも求めているのです。縁あって同じアムスの下で学んだ者同士、共に頑張っていきましょう。

校友会会长 山脇功治（第1期生）

アムス校友会通信 Vol.1 2009.12

アムス柔道整復師養成学院 校友会事務局

〒540-0028 大阪市中央区常盤町2-1-12 アムス柔道整復師養成学院内
TEL 06-6947-0800(代) FAX 06-6947-0801

平成20年度決算

前年度繰越額	12,283,452		
平成20年度収入		平成20年度支出	
校友会費収入	5,300,000	事業費	5,962,180
勉強会収入	2,759,000	管理費	521,886
行事収入	286,000	予備費	0
コピーブリペイドカード代	416,645	その他	3,282,141
その他	118,883		
収入総計	8,880,528	支出総計	9,766,207
		年間収支	▲885,679
		次年度繰越額	11,397,773

平成21年度予算

前年度繰越額	11,397,773		
平成21年度収入		平成21年度支出	
校友会費収入	3,600,000	役員会議費等	516,000
勉強会収入	2,932,000	行事イベント費	940,000
行事収入	260,000	学術勉強会費	2,967,500
コピーブリペイドカード代	336,000	通信費	819,720
その他	18,000	事務諸費	409,000
		図書室コピー機カウンター費	420,000
		図書室コピー機リース費	215,460
		エコー機械リース費	861,840
		卒業記念品費	114,000
		その他	50,000
収入総計	7,146,000	支出総計	7,313,520
		年間収支	▲167,520
		次年度繰越額	11,230,253

※平成21年度予算より支出項目を再編成して掲載しています。